

進鴻溪

【しんこうけい】

( 1 8 2 1 ~ 1 8 8 4 )

備中松山藩士。漢学者。名は漸。通称は昌一, 郎。鴻溪は号。阿賀郡唐松村(現新見市唐松)に生まれる。一八歳の時、山田方谷に師事した。弘化四年(一八四七)に藩校有終館学頭となった。その後、撫育銀方総裁兼農兵頭など歴任した。慶応四年(一八六八)戊辰戦争の後には藩存続のため尽力した。明治維新後は世事砂ら離れ、教育に専心し多くの人物を育てた。

- 幕末辞典 -